第44号

伊予野丘

発行人
国東高校伊予野丘同窓会
〒873-0502
大分県国東市国東町田深469
TEL 0978-72-0604
FAX 0978-72-0604
（事務局長 西田節男）

― 創立100周年から次の一歩へ ―

新しい100年に向けて

国東高校伊予野丘同窓会会長 宮本 季生（S33年卒 高10回生）

伊予野丘同窓会は、昨年母校創立百周年記念総会を1年遅れて開催、盛大にお祝いし、100周年の記念碑を私どもの学び舎の地、伊予野丘に建立しました。これで、100周年の大きな節目に区切りをつけることができました。

これからは、また、次の100年に向けて心も新たに取り組んでいかなければならないと思います。その一歩として次の三つの案件を本年度の通常総会で皆さんにお諮りをし、ご承認を頂きましたので、ここにもう一度述べさせて頂きます。

一番目に「国東高校同窓会との統合」の件ですが、これにつきましては、伊予野丘同窓会の高齢化が進み、同窓会の古い歴史と伝統を引き継ぎ、末永く存続させるためには、今のうちから若い人たちの参加が必要であります。すなわち、国東高校同窓会との統合が必要であります。統合に当たりましては、まだ双方ともいろいろ準備しなければなりませんので、「双方の準備が整った時点で統合する」ことで承認されました。これから打合せを重ね、出来るだけ早い時期に統合が実現しますよう準備して参ります。

二番目の「未返還奨学金」の件につきましては、現在、返還期限の過ぎています貸付奨学金は30万円（12名）であります。これまでも問題になっていまして、何度も督促をして来ましたが返還されていません。今回改めて本人と保証人に督促状を送付しましたが、連絡の取れた方は3名のみで、その他の人は住所不明で連絡が取れませんでした。個人情報保護法のためこれ以上督促することができませんので、連絡の取れた3名分62万円を残してその他の238万円を損金処理することにしました。ただ、帳簿上処理してもこれからも、回収の努力は続けます。

三番目に「学年別の幹事」（会長委嘱）の件ですが、名簿上には19名の方の名前が記載されていますが、役員の方や支部長の名前が記載されたりしていまして、学年別の幹事としての活動をしていませんので、廃止することにしました。

同窓会は同窓のみなさんの楽しい集いと語らいの場であり、また、母校の発展を支援する組織でもあります。この考えに基づきこれからも努めて参ります。皆様のご支援とご協力をお願い致します。

来賓あいさつ

国東市長
松井 督治
（高31回 S54年卒）

国東高等学校伊予野丘同窓会の通常総会が、多くの皆様のご出席のもと、盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。

また、皆様方には、平素より、市政の推進に対し、温かいご支援、ご協力を賜り、改めて感謝申し上げます。

さて、先月、民間の有識者グループ「人口戦略会議」により公表された「消滅可能性自治体」に、10年前と同様、国東市が入っていました。さらに、国立社会保障・人口問題研究所が示した国東市の2050年の推計人口は、1万4,119人と、2020年の約半分になるという厳しい予測も出されています。

国東市では、これを受けて、5月1日に全管理職会議を開き、少子化対策、人口減少対策のレベルをさらに引き上げ、次の調査までに「消滅可能性自治体」を脱却することを大きな目標として決め、危機感を共有したところです。

人口減少対策では、国東で生まれ育つ子どもが増えるように、若い世代のファミリー層を増やすことが必要です。そのためには、従来の「移住・定住対策」だけでなく、「子育て環境や教育環境の充実」が、大変重要になってきます。

以前は、市内に4つあった高等学校も、生徒数の減少による統廃合で、現在では国東高校1校のみとなっており、市内で唯一の高等学校である国東高校は、地域の将来を担う人材育成の場として、大変重要な存在です。

現在、国東高校は、最新技術が学べる環境土木科や本年度から新設されたSPACEコースなど、他の高校にはない先端的な学びが出来る高校となり、生徒の全国募集も始まっています。

また、部活動においても、昨年度は女子柔道部が団体戦で全国大会に出場するなど、生徒の皆さんの頑張りで、国東高校の名声を高めています。

しかしながら、急速に進む少子化の時代において、国東高校が存続・発展するためには、更に魅力的な高校になることが必要であると思っています。

市としましても、今後も、県教育委員会と連携しながら、国東高校が市内の中学生はもとより、全国の中学生からも選ばれる魅力的な高校となるよう、引き続き支援を行うと同時に、卒業した生徒が「国東で働きたい」と思ってくれるようなまちにしていきたいと思いますので、同窓会の皆様方には、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、私自身、国東高校の31回生です。母校の国東高校が、これまで築いて来た輝かしい伝統の上に、新たな素晴らしい未来に向けて、歩んで行くことを祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます。

国東高校校長
笠木 敏行
（新任）

今年度着任しました。この場を借りて、本校のご支援にお礼申し上げます。

国東高校の現状についてお知らせします。ここ数年、入学者は減少しています。しかし、この1～2年、入学者が少し増えています。令和6年度の入学生の2年次から普通科に「SPACEコース」を開設し、全国から公募を行います。

すべての生徒が進路を保障できるように取り組んでいます。令和5年度、部活動では、女子柔道部が、全国大会に出場しました。

進路面では、国公立大学に18名合格、公務員に8名合格しました。就職については、約7割が県内に就職しています。

今後も国東高校になお一層のご支援ご協力をお願いします。

功労者表彰

永年にわたり同窓会を牽引・支援されてこられました方2名に宮本会長から感謝状と記念品を贈呈しました。

- **武多洋子**氏（前副会長）
- **猪部敬彦**氏（前事務局・広報）

国東高校伊予野丘同窓会総会
～これからの同窓会に向けて～

国東高校伊予野丘同窓会総会が5月25日（土）12時30分からホテルベイグランド国東で、96名が出席して開催されました。

総会では、宮本会長が主催者を代表してあいさつを行いました。（巻頭）

来賓のごあいさつは、2人の方から頂きました。①松井督治国東市長、②笠木敏行国東高校校長の方々でした。（同上＝要旨）

議長には、野田忠治氏（安岐支部長）が選出され、議事進行が行われました。

決算書は西田節男事務局長から、監査報告は宮園正敏監事から報告がありました。また、本年度の予算案についても西田事務局長から提案がありました。いずれも、承認されました。

総会で議論になったことは主に次のことでした。

一つは、国東高校伊予野丘同窓会と現在の国東高校同窓会との統合についてでした。出席者からは、伊予野丘と名前をつけている同窓会の意味をどう考えているかや旧農業高校や旧双国高校との関連をどうするかなどの質問が出されました。執行部から、同窓会のあるべき姿として現国東高校を支援することであり、また伊予野丘同窓会と現国東高校との統合をどうするかであり、そこを基本に考えていきたいと答弁がありました。

宮本会長から冒頭のあいさつで提起された「双方が準備が整った時点で統合する」という方向で承認されました。

二つ目は、同窓会からの未返還奨学金（300万円）処理についてでした。12名の未返還者がいて、2名からは督促状に対する返事（計62万円返還予定）があった。他は何回も督促してきたが、住所が分からず困難な状況である。現時点では238万円を損金処理せざるを得ないことも承認されました。

三つ目は、学年別の幹事の廃止についてでした。ここ数年有名無実になっており、組織を廃止することで承認されました。

総会の流れ

総会（12時30分～13時20分）
(1) 物故者追悼
(2) 同窓会長あいさつ
(3) 来賓あいさつ・来賓紹介
(4) 議事

記念講演（13時30分～14時40分）
「新しい国東市の創造」
国東市長 松井督治氏

懇親会（15時～17時）
(1) 乾杯
(2) 宴会
(3) アトラクション
① 相撲甚句
② フラダンス
(4) 万歳三唱
閉会のことば

懇親会

【乾杯】國廣昭彦東京支部長の音頭で発せられました。「総会ではいろいろなことが話し合われましたが、大事なことはこれからの国東高校の発展だと思います。東京同窓会も3月に日本武道館で開催された全国高等学校柔道選手権に同窓会員23名で応援に行きました。今後の同窓会、国東高校の発展を祈って乾杯！」

【アトラクション】①相撲甚句が、宮本季生会長と河野禮子さんにより披露されました。②フラダンスが、ボランティアサークル華の会の宮永公子さん他5名により披露されました。

【万歳三唱・閉会のことば】新大分支部長小串浩三が発しました。

宮本季生会長と河野禮子さん

ボランティアサークル「華の会」宮永公子さん他５名

伊予野丘同窓会総会
記念講演

「新しい国東市の創造」

～六郷満山・アート・宇宙港をキーワードにしたまちづくり～

国東市長　松井 督治

1．国東市のご紹介

◆基本データ（人口、高齢化率、降水量、平均気温）
◆アクセス（周防灘フェリー、大分空港、ホーバークラフト）
◆産業構造
　全国と比較すると製造業、農林漁業の比率が高くなっている
◆産業紹介
　・製造業
　・農林漁業
　　世界農業遺産　クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐地域の農林水産循環
◆歴史・文化　～古代から伝わる文化が今なお残る国東～
◆国東市の最大の課題　人口減少
　・国東市の将来推計人口（令和5年推計）
　　30年間で人口が46%減少する予測
　・国東市の自然動態の推移（出生数、死亡者数）
　・消滅可能性自治体
　　令和6年4月、民間の有識者グループが、国東市を含む744の自治体が2050年までに30年間で消滅する可能性があると公表
　・今後、少子化、人口減少対策のレベルをあげる

2．新しい国東市の未来をデザインする5つの政策

「人口減少対策」、「地域産業の活性化」、「安全・安心で活気あるまちづくり」、「子育て・教育環境の充実」、「地域文化の継承と創造」

3．国東半島カルチャーツーリズム

～六郷満山の歴史と現代アートと食が織りなす観光資源～
◆国東の観光資源
　六郷満山寺院、国東半島峯道ロングトレイル、スポーツ（マリンスポーツ・海水浴・サイクリング）、現代アート、美酒・美食
◆これからの国東市の観光振興
　・観光は人口減少時代において、地域の経済を潤し、地域を活性化する切り札となるものである。加えて、宿泊、飲食、土産、交通、農林水産業、伝統工芸など、関連する産業の裾野が広く、今後の国東市の地域活性化において、観光振興・観光戦略は非常に重要となる。
　・アフターコロナにおけるインバウンド観光のキーワード
　　「サステナブル・ツーリズム」（環境や文化に配慮した旅行）
　　「アドベンチャートラベル」（アクティビティ、自然、文化体験を含む旅）
　　「高付加価値旅行」（1回の旅行で1人が100万円以上の消費）
　　インバウンドが求める観光資源が国東市に存在している。
　・国東市の観光資源を有機的に結び付け、高付加価値旅行を誘客

4．大分空港の宇宙港化とまちづくり

◆これまでの時系列（大分空港の宇宙港化に関する話題）
◆大分空港の宇宙港化が国東市にもたらす効果
　・宇宙ビジネス市場は、2021年は約52兆円、2040年には約135兆円と大幅な成長が期待される市場
　・宇宙港が実現することで、大分空港周辺へ宇宙関連企業や研究開発拠点が集積して、立地企業の従業員の移住・定住により人口の増加が図られ、また、高度な次世代人材の育成を推進しやすい環境が整う
　・また、宇宙関連産業は、宇宙空間への人工衛星やロケット打ち上げだけでなく、非宇宙分野として、『宇宙×旅行』、『宇宙×観光』、『宇宙×食』、『宇宙×農業』、『宇宙×教育』など多種多様な連携の可能性がある
　・加えて、宇宙港見物の観光客や修学旅行を誘致することで、交流人口の拡大が図れるとともに、六郷満山観光、ロングトレイル、サイクリングなど、観光振興による経済的な効果も見込まれる
　・宇宙産業の集積や観光振興により税収入が増えることで、国東市の独自財源が増加し、市民サービスの向上や人口減少対策の強化に繋げることが可能となる
　・大分空港の宇宙港化は、過疎化、高齢化、少子化、人口減少、産業の衰退などの地域課題を解決できるような要素を持っているプロジェクトであり、国東市にとって千載一遇のチャンス
◆国東市内での宇宙に関するニュース
　・市役所の正面玄関を宇宙ステーションの入り口に
　・宇宙×食
　　国東高校が辻調理師専門学校協力のもと月面メニューを開発（宇宙STEAM探求）
　　市内の企業が、国東名物のタコを使った宇宙食を開発。スペーシー味
　・空港展望公園に宇宙アートを設置
　・国東高校に普通科SPACEコースが開設
　・江戸時代、国東で宇宙を研究した先哲の存在（三浦梅園、麻田剛立（※杵築市））
　・大分空港は「陸・海・空・宇宙」の結節点

5．その他　最近のトピックス

◆【環境】くにさきわくわく油田プロジェクト
◆【環境】家庭ごみ廃プラスチックのケミカルリサイクルに向けた実証実験
◆【環境】大分県内で初めてSDGｓ未来都市に選定
◆まとめ
　国東市の新しい価値を創ることが、消滅可能性自治体から脱却する唯一の方策です。国東市が持っている六郷満山文化や国東半島峯道ロングトレイル、現代アート、食などの資源を組み合わせて、新たな価値を創り出す。さらに、今後予定されているホーバークラフトの就航や大分空港の宇宙港化は、国東市に間違いなく、大きな価値をもたらしてくれると思います。
　市政の究極の目的は、市民一人ひとりの幸福度を上げることです。国東市の新しい価値を創ることが市民の幸福度を上げることにつながると考えます。
◆最後に
　国東市は、『若い世代が未来に希望の持てるまち』・『だれもが明るく楽しく暮らせるまち』を目指し、挑戦を続けてまいりますので、皆様方のなお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

支部・同窓会員紹介

頑張っちょるで！

大分支部長になって

新大分支部長長
小串　浩三
（高23回 S46年卒）

令和五年度の大分支部総会におきまして、支部長に選出されました小串浩三と申します。昭和46年卒（高23回）です。どうぞよろしくお願い致します。前任の田口正高支部長には長きにわたりご尽力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

はじめに、自己紹介をさせていただきます。出身は国東町田深です。高校時代、部活は柔道部に所属し、田口、小田両先生から厳しい指導を受けました。なかでも田口先生が「柔道は雨も嵐も雪の日も毎日稽古ができる有難いスポーツだ」といつも熱く語っていた姿が忘れられません。また二年の頃、「男子の長髪問題」という大きな動きがありました。当時大分市の有名高校は、ほぼ長髪が定着しており、わが校でも活発な議論が行われるようになって、情報収集のため生徒会として上野丘高校に出向いたのを記憶しています。卒業アルバムには髪を七三に整えた男前が写っており（私を含め運動部員の多くは丸刈り・・）五十五年くらい前の思い出です。

半世紀、この長い時間のタイムトリップに導いてくれるのが同級会、OB会、同窓会だと思います。

令和6年5月25日、国東高校伊予野丘同窓会通常総会・懇親会に初めて参加させていただきました。懐かしい方との再会や初めてお話した方が同級生のご兄弟であったり、またある方は義理の父の教え子の方だったりと様々な出会いがありました。これが故郷国東の同窓会だと思います。昔どなたからか聞いた「国東ん氏（し）は皆知り合いで・・」というフレーズを思い出し、ふっと笑いが出るほど実感しました。市長の講演「新しい国東市の創造」では国東市の現状、目指す姿、また「消滅可能性自治体」という強烈な内容のお話を興味深く拝聴させていただきました。開催準備に携わった関係各位に御礼申し上げます。

さて、ここで大分支部のご紹介をと思いましたが、残念ながら大分支部には、その歴史を振り返るに必要な記録がなく長い間支部役員をされている先輩にお願いして、記憶を辿る形でお話を伺ったところ、支部が発足したのは約35年前のようです。有志数人が手探り手弁当で活動し、少しずつ参加者を募り続け、最盛期は百人超が出席するほど盛り上がったそうです。支部長は初代が後藤氏、続いて安見、椋野、中野の各氏と続き、その後は築山氏、前任の田口氏、私が七代目になるそうです。歴代の支部長、役員の皆様が大変ご苦労されて今があるのだと知りました。

大分支部の現状は会員数119名（前年度支部総会の案内状送付名簿数）、内訳は70歳以上が68％、60歳代20％と両世代が約90％を占め、50代12名、40代はわずか2名です。令和5年度の支部総会はコロナ禍で休止していた影響か参加者は28名でした。会員の高齢化、減少傾向がそのまま総会参加者減に繋がっているのが現状です。支部の経費はかなり厳しい状況で、持続可能な支部同窓会の在り方も問われる時期に差し掛かっています。支部同窓会の存在をご存じでない方も多くいらっしゃいますし、現役世代が同窓会にどのような印象を持っているかも知る必要がありそうです。参加してよかったと感じていただき、参加した方が他の一人に声をかけたくなる支部でありたいと願っています。「国東ん氏は皆知り合い」これがちょっとだけ国東から離れた「大分支部同窓会」の楽しみのひとつかも知れません。今後は支部役員の皆様とご相談しながら微力ではありますが支部活性に取り組んでまいります。皆様のご指導ご支援をお願い申し上げます。

私ごとですが、私は国東に月に2～3回帰り、妻の実家で野菜作り、草刈り、剪定はじめ季節の恵み（タケノコ、ミカン、柿や梅等）の収穫を楽しんでいます。耕運機、草刈り機、チェーンソーも扱えるようになりました。作業していると「帰っちょんかえ～」と気軽に声をかけていただいて、時折幼なじみから「いいのが釣れたでえ」と新鮮で旨い魚にありつきます。ふるさと国東に感謝です。

最後になりましたが、母校国東高校の皆様の活躍と本部同窓会の益々のご発展を心より祈念申し上げます。

故郷を離れて国東を想う

宮崎　修吉
（高27回 S50年卒）

初めまして、昭和50年卒業の宮崎修吉と申します。

先日、来浦小学校からの長い付き合いの国広精一君から電話を頂き、6月に行われた高校同級会の話などを懐かしく伺うことが出来ました。しかし、電話の本来の目的は本同窓会誌の原稿依頼であり、国広君からの依頼では快く受けざるを得ないとの思いで寄稿させていただくことになりました。

さて、私は現在仙台市で暮らしていますが、高校卒業後に最初に進んだのは東京大学理科1類でした。高校まで国東で過ごし井の中の蛙だった私が、大学受験で最初から東大を目指した訳ではありません。その契機は、国東高校の一年先輩の2人（壷井氏と岡本氏）が東大に合格したことにあります。すごいなあと感心しながらも、急に東大が身近に感じられるようになり、自分も行けるのではないかと思うようになりました。特に岡本氏は来浦中学校柔道部の一年先輩だったことが、東大をより身近に感じられた大きな要因でした。東大入学後、学部は航空工学科に進み航空力学を学びました。しかし、東京で4年近くを過ごし卒業が近づくと、そのままサラリーマンとして首都圏で働くイメージが湧きませんでした。社会に出る猶予期間が欲しかったことや開業医の家庭で育ったDNAのもあり、東大卒業後に引き続いて東北大学医学部への進学を選びました。

東北大学では雪への憧れもあって医学部スキー部に入りました。夏場は冬に備えての体力づくりのトレーニングを行い、冬はスキー場で合宿という学生生活でした。医学部で過ごすうちに感じたことは、3学年も4学年も上の先輩から、さらには卒業した医師までもがとても身近に感じられることでした。卒業生の数名は冬の合宿にも顔を見せますし、学生の新入生歓迎コンパなどに医学部の教授や先輩医師も参加します。そのような交流の中で無意識のうちに、東北大学医学部のファミリーに組み込まれて行きました。卒業後はクラブの先輩の勧めで山形の酒田市の病院に勤務し、その病院で出会った指導医の勧めでゴルフを始め、また食道外科医の道へと進むことになったのです。その後は、

消化器外科の専門医・指導医として東北で過ごすことになりました。

山形での初期研修の後は、東北大学医学部の外科医局に入局しました。東北大学には22年間在籍し、その間2年数か月のアメリカ留学を経験しながら、終始食道外科に携わってきました。大学医局に在籍中は学会等で食道外科の研究発表や講演などをやらせて頂き、全国の食道外科医には名前を知られるようになりました。このように長年1つの学問に携わり突き詰めていくと分かることは、現在我々が知っていることがどこまでで、どこからが未知なのかという境界がはっきりと見えてくるということだと学びました。

大学を離れてからは岩手の県立中部病院で外科部長として10年間、その後、みやぎ県南中核病院で病院長として4年間務めさせていただきました。大学を離れたからといって大学との繋がりが切れることはありません。旧帝国大学だった東北大学医学部には東北6県から関東の一部にまで関連病院があり、大学および他の関連病院との人的交流が続きます。東北の主な病院の外科スタッフはほとんどが同門出身です。一度大学病院のスタッフになると、いい意味でも悪い意味でも大きな大学の傘下に入り、その勢力圏内で生活することになり、仙台に居を構えることになりました。

想えば国東を離れて50年になります。東北でも仙台市以外はどこも過疎化に悩まされているのと同じく、国東の過疎化も深刻だと聞いています。母校の来浦小学校も来浦中学校も廃校になり、高校は合併移転しました。しかし、高校まで過ごした故郷国東の思い出や地元の同級生との交流が途絶えることはありません。そんな国東に想うことは〝より地方的であれ〟ということです。より地方的であればあるほど全国的になれると思います。そのような想いで一卒業生として遠くから国東を応援しています。

国東鉄道

福岡同窓会会員
日野 保義
（高37回 S60年卒）

私は、昭和36年に廃止された国東鉄道について資料の収集を行い、いろいろ調査をしています。研究の一端をご紹介致します。

大正3年3月30日、国東鉄道株式会社は鶴川の劇場豊国館で創立総会を開催した。会社の事業目的は次の通り。「大分県東国東郡富来町ヨリ同県速見郡八坂村ニ至ル軽便鉄道ヲ布設シ陸上運送ノ業ヲ営ミ尚大分県富来町ヨリ山口県徳山港ニ至ル海上運輸ノ業ヲ営ムモノトス」。つまり、八坂（杵築駅）～富来間の一地方鉄道に、富来～徳山間の海上運輸を付帯することで、関門経由の国有鉄道よりも速くて安い、東九州地方～阪神方面間の幹線になる。瀬戸内海に突き出た国東半島の、地の利を活かす構想であった。

会社は後に杵築～富来間とは別に、2件の鉄道敷設免許を申請した。1件目は大正14年に申請した富来～熊毛間の鉄道で、熊毛港発着の旅客と貨物の利用を見込んでいた。2件目は昭和5年申請、杵築～亀川間の電気鉄道であった。しかし2件とも鉄道省に却下された。

大正時代、会社は国東駅の予定地を現在の国東市役所付近とし、町内の各所で用地取得と工事を進めたが、資金難のため長期間の中断に至った。そして昭和4年頃、「駅予定位置は街外れで不便なため人口の多い鶴川市街に変更してほしい」という要望が地元商工会から出た。会社は小原～国東間の用地取得と工事をやり直し、昭和10年、現在の国東バスターミナルの場所に国東駅は開業した。

昭和12年の日中戦争開始以降、国東～富来間の工事どころではなくなった。昭和17年、戦時下の輸送力確保のため鉄道省が県内交通会社の統合を県に勧告した。それを受けて昭和20年4月20日、別府大分電鉄が国東鉄道など6社を吸収合併し、商号を大分交通株式会社に変更した。杵築～国東間の鉄道は大分交通国東線として存続したが、昭和36年10月26日の集中豪雨被害をきっかけに廃止された。

昭和56年のインタビュー。平松知事は国東半島の鉄道について、こう語った。「昔は国東鉄道というのがあったんです。でも、集中豪雨被害のあと、取っちゃったんですね。今あったら、SLと同じようにおもしろい名物になったでしょうけど」。

熱い！国東高校運動部

女子柔道部団体、女子個人、男子個人で全国高等学校柔道選手権大会出場（日本武道館）

事前に伊予野丘同窓会が激励へ 当日に東京同窓会が激励・応援

令和6年3月19日～20日、全国高等学校柔道選手権大会が日本武道館で開催されました。

団体戦女子に阿南瑠璃夢（52kg級）、中村梨乃（63kg級）、磯崎心音（無差別級）選手が出場、女子無差別級に磯崎心音、男子無差別級に芦苅輝真選手が出場しました。

事前の2月28日（水）に伊予野丘同窓会の宮本季生会長、西田節男事務局長、國廣精一事務局（広報）が、国東高校を訪れ、小田雅彦校長、田川晋治総監督に激励金10万円を渡し、全国大会の健闘を祈りました。

田川総監督は、「全国大会では、選手たちがベストを尽くせるように頑張ります。」

東京支部（東京同窓会）は、國廣昭彦支部長より田川晋治総監督へ激励金10万円を贈呈しました。さらに、大会当日同窓会員23名で応援に駆けつけました。さらにまた、3月20日慰労激励会を選手や監督、選手保護者、東京同窓会会員で催しました。

このような中、大会結果は、女子団体がベスト16、女子無差別級がベスト8と健闘しました。

宮本会長が田川総監督に激励金を渡す

令和６年度常任理事会

令和6年度常任理事会が、4月27日（土）国東町田深の川口屋で開催されました。

宮本会長が、「昨年の100周年記念事業を終え、これから将来に向けての第１歩となるようにこれまでの伝統を守って、伊予野丘同窓会を次の世代に引き継いでいただきたい。」というあいさつをされ、それを受けて審議されました。主な案件は次のとおり。

①伊予野丘同窓会と現国東高校同窓会の統合について。
②高校助成金30万円について＝一括で出すのではなく、事案があれば部にとらわれず全国大会に出場すれば助成金を出すことについて。
③未返還奨学金処理について。

ウェイトリフティング部 男女5人が高校総体出場

8月2日から長崎県諫早市で開催される高校総体＝インターハイ北部九州大会に国東高校から、男子個人で55kg級に星山哉斗さん、73kg級に清水翔一郎さん、竹田津心希さん、96kg級に川上真史さんが出場、女子個人で71kg級に是松千尋さんが出場。

7月31日（水）午後、国東高校伊予野丘同窓会宮本会長が国東高校を訪問して、全国大会に出場する5人を激励し、激励金を土居雅典監督に渡しました。

※インターハイ結果
男子96kg級 川上真史（5位入賞）
女子71kg級 是松千尋（6位入賞）

男女団体アベック優勝、個人男女で5人優勝

6月に行われた大分県大会で柔道部が8年ぶりに男女アベック優勝しました。男子は芦苅輝真、高村守、重末幸輝、吉開翔大、山田奏太、河野将大、大戸峻瓦の中から5人立ちで、女子は磯崎心音、分園花菜、中村梨乃、仁田野圭紀の中から3人立ちで戦いました。

また、個人戦男子では、60kg級河野、90kg級芦苅、100kg超級高村、女子では、78kg級分園、78kg超級磯崎がそれぞれ優勝しました。

高校総体インターハイ 北部九州大会出場

事前の7月19日（金）に国東高校柔道部OB会が主催して「志まる」で行われた壮行会に伊予野丘同窓会の宮本季生会長が出席し、田川晋治総監督・大杉鴻燿監督に激励金を渡し、高校総体の健闘を祈りました。

8月10日から始まる男子の開会式では、主将の芦苅輝真さんが宣誓、8月12日から始まる女子の開会式では、主将の阿南瑠璃夢さんが宣誓。事前の取材では、芦刈さんは「大分県の代表として、堂々とやりたい」、阿南さんは「全国の前での経験は貴重なので、堂々と選手宣誓をしたい」と力強く語ってくれました。

芦苅さん

阿南さん

※インターハイ結果
女子団体5位入賞
78kg超級 磯崎心音 5位入賞

編集後記

□「新しい100年に向けて、創立100周年から次の一歩へ」というテーマで同窓会会報誌44号を編集しました□大分県大会で柔道部の８年ぶり男女アベック優勝やウエイトリフティング部５人の優勝＝全国高校総体（インターハイ）出場など現役高校生のうれしいニュース□来年度、普通科に「SPACEコース」新設□魅力ある国東高校の創出や進学校として新入生を惹きつける普通科の育成こそ同窓生の願い□定数を確保し持続可能で発展的な国東高校を同窓生は願うばかりです。□全国の同窓生の様子を「頑張っちょるで」コーナーで紹介。お互いによい刺激になれば幸いです。

令和7年度総会は5月24日㈯開催。御出席お願いします。

令和6年度 同窓会組織

同窓会長	宮本 季生
副会長	一丸 久子
〃	福田 素純
〃	橋永 桂子
〃	元永 安行
〃	矢野 亜紀
〃	小深田 ナオ
〃	帯刀 真也
〃	古河 俊介
監事	國廣 秀光
〃	宮園 正敏
事務局長	西田 節男
事務局（広報）	國廣 精一
ホームページ担当	須賀 祥喜
姫島支部長	藤原 雅章
国見支部長	宮永 公子
来浦支部長	一井 敏郎
富来支部長	井村 義幸
川北支部長	鶴田 馨一郎
川南支部長	竹田津 正人
上国崎支部長	佐加良 和仁
豊崎支部長	秋田 泰義
旭日支部長	穴見 善隆
武蔵支部長	野田 忠治
安岐支部長	清原 洋一
杵築支部長	郷司 義明
別府支部長	小串 浩三
大分支部長	池本 孝
福岡同窓会長	萱嶋 時信
関西同窓会長	國廣 昭彦
東京同窓会長	